

先日シカゴ大学経済学部を卒業して、日系の石油会社で働いているWAYの卒業生A君がシンガポール出張を兼ね、遊びに来ました。

彼は小学1年生から高校を卒業するまでインターに通っていました。

私は彼に「君は経歴からすると当然外資系の会社に就職すると思っていたよ。」と言ったところ、「外資の方が初任給はずっといいのだけれど、日系の会社の方が居心地がいいんです。」なぜと尋ねると、「英語とシカゴで学んだ経済では誰にも負ける気がしないんです。会社でも上司の英語もAIの英語も直せませんし、世界の石油の情報を英語で集められるので、会社で重宝されています。」と答えていました。彼は性格がおとなしく、謙虚な人間なので、そうだろうな、と私は思いました。

彼は日本語クラスと英語クラスを、小5から高3の最後までWAYで受講していました。シカゴ大学に通っていた時、「WAYで学んで、一番役に立っているのは論理です。特に教材の『論理トレーニング101題』は英語を論理的に書くとき役に立っています。」と言ってくれました。

君に、英語と日本語を教えられたこと、それが土台となって、日系の会社入社し、大切にされていることをとても嬉しく思っていると彼に伝え、別れました。「また、遊びに来ます」と彼は言うてくれました。

WAYの生徒の英語と日本語(論理)を、基礎から高度なレベルまで、しっかりと教えていこうと決意を新たにしました。

英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークな英語のまま放置されています。それは、まるで液状化した土地に建物を建てていることに似ています。WAYでは、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTSの教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTSクラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTSの読解を通して、TOEFLの点数を上げるために、TOEFL無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFLやIELTSテストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年IBスコアで40以上(今年は45の生徒が出ました)が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110点以上を目指しています。

Academic Writing クラス

このクラスは英語での入試や編入で必要となる出願書類(志望動機書など)の指導に焦点を合わせたライティングの書き方を教えています。

指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用(IBレベル)までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IBの日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成力を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。)論理的な思考力なくして、IBで高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。